



第1次中期経営計画

「トライ2034 (2024 – 2026)」



東部ネットワーク株式会社(9036)

東北三光・魚津運輸・テーエス運輸・相模新栄運送

2024年5月14日

物流を通じて社会の発展に貢献し

今とは異なるものになるために挑戦し続け

ステークホルダーから信頼される企業を目指します

✓ 挑戦	多様化する時代の中で新分野へ挑戦し社会のニーズに応え続けます
✓ 信頼	安心・安全を第一とした物流サービスを提供し お客様・社会・社員から信頼され続ける企業を目指します
✓ 環境	クリーンエネルギーの普及に貢献し持続可能な社会の実現に寄与します

経営重点項目

人材の重視

企業価値の向上

安心・安全

目指す姿 「持続的な成長」と「企業価値の向上」

当社を取り巻く経営環境はめまぐるしく変化を続けております。当社グループはグループ一体となって持続的な成長並びに企業価値の一層の向上に努めてまいります。

長期VISION
トライ2034

成長のための基盤作り

~2023年
助走期間

成長投資
M&A実行

2024~26年
第1次中期経営計画

2027~29年
第2次中期経営計画

2030~32年
第3次中期経営計画

重点テーマ

- グループ経営
- コア事業の進化
- 経営インフラ

外部環境	当社にとってのテーマ
物価上昇、個人消費抑制	荷主業界の動静、適正運賃收受
気候変動（脱炭素化）対応	ESG・SDGs、新エネルギー物流（水素）
少子化・人口減	働き手不足、業務効率、DX化
コンプライアンス、ガバナンス	安心・安全、人事・組織、企業倫理
地政学リスクの顕在化	燃料費、電気代の高騰
働き方改革、労働規制（2024年問題）	職場環境、賃金上昇、運行効率
資本市場からの要請	経営計画策定、経営指標の見直し・向上

貨物自動車運送事業

コア事業
セグメント

サービス・
機能

業務領域

トランスポート

輸送

一般貨物

特殊貨物

注力分野

自社の輸送ノウハウを活用して
荷主ニーズに合致した物流サービスを提供

トランスポート・サービス

配車サービス

求貨求車情報

自社輸送

利用運送

注力分野

3 PL

庫内作業

在庫管理

輸配送

物流加工

物流の一括受託

物流センター 危険物倉庫

注力分野

自社開発

賃借

戦略地域に複数荷主対応
のセンターを展開

高度な安全管理・サービス品質の提供

顧客との関係強化【コミュニケーション、物流ニーズの把握】

物流パートナーとの連携【物流システム（複合サービス）の提供】

PDCA
サイクル

既存顧客との取引を深掘りし、注力分野、経営インフラに集中的に投資する

アクションプラン

- グループ経営
- コア事業の進化
- 経営インフラ整備
(人材・生産性向上)

**積極的な
成長投資**

投資計画

M&A

→産業用ガス分野、新規分野

新規拠点開設・物流サービス網の拡充

→危険物倉庫・高機能センター

その他（効率化・DX）

→新配車支援システムの導入

（長期ビジョン投資額）

成長投資	130億円
効率化・DX	5億円
M&A	35億円

長期戦略実現のため、各事業セグメントにて以下の具体的施策に取り組む

トランスポート（自社輸送）

- 特殊輸送も含めた自社輸送体制を現状の1.5倍に拡大する
- 全国に輸送サービス網を構築し、様々な輸送ニーズに応える

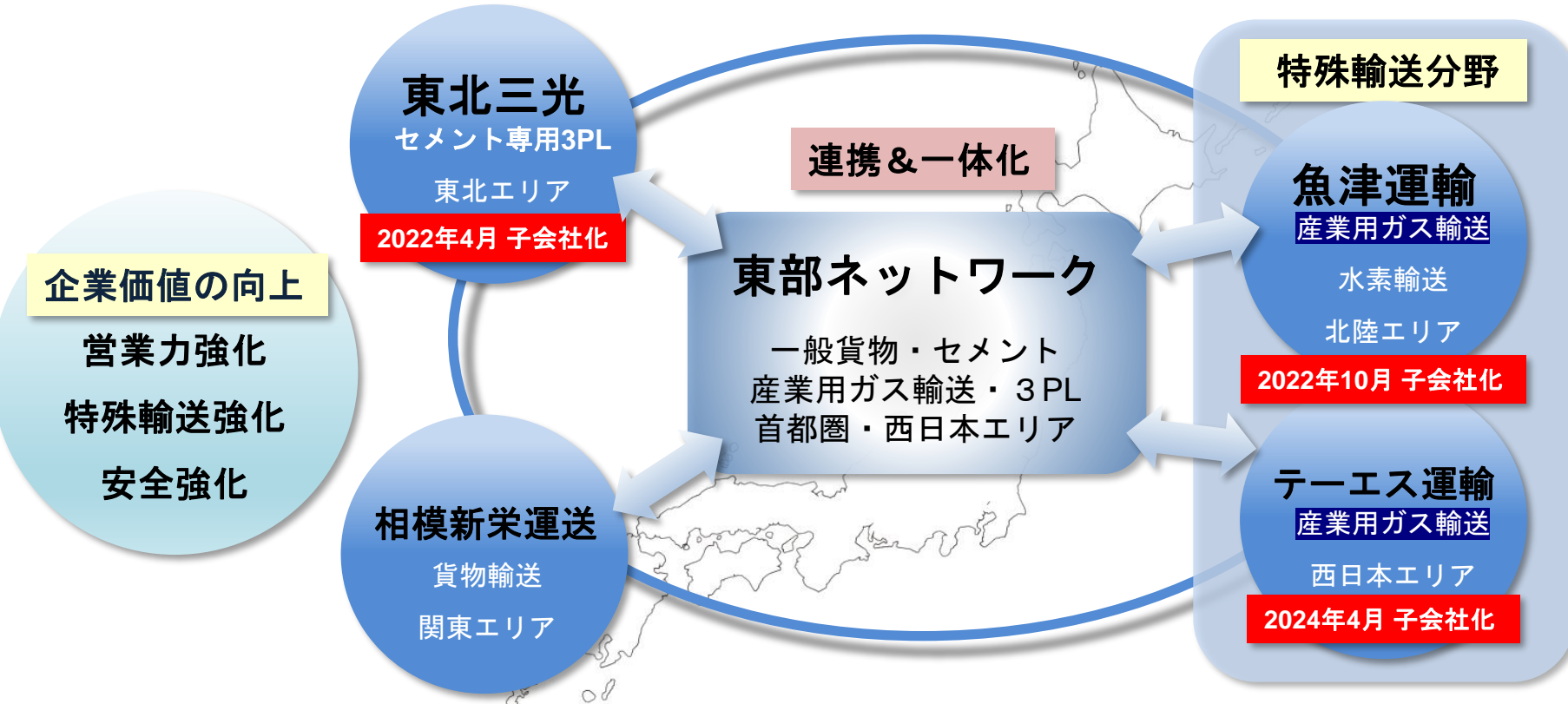
トランスポートサービス（配車サービス）

- 物流パートナーとの連携により新しい物流システムを提案する
- 協力会社ネットワークを積極活用し安心安全な物流サービスを拡充する

3 PL

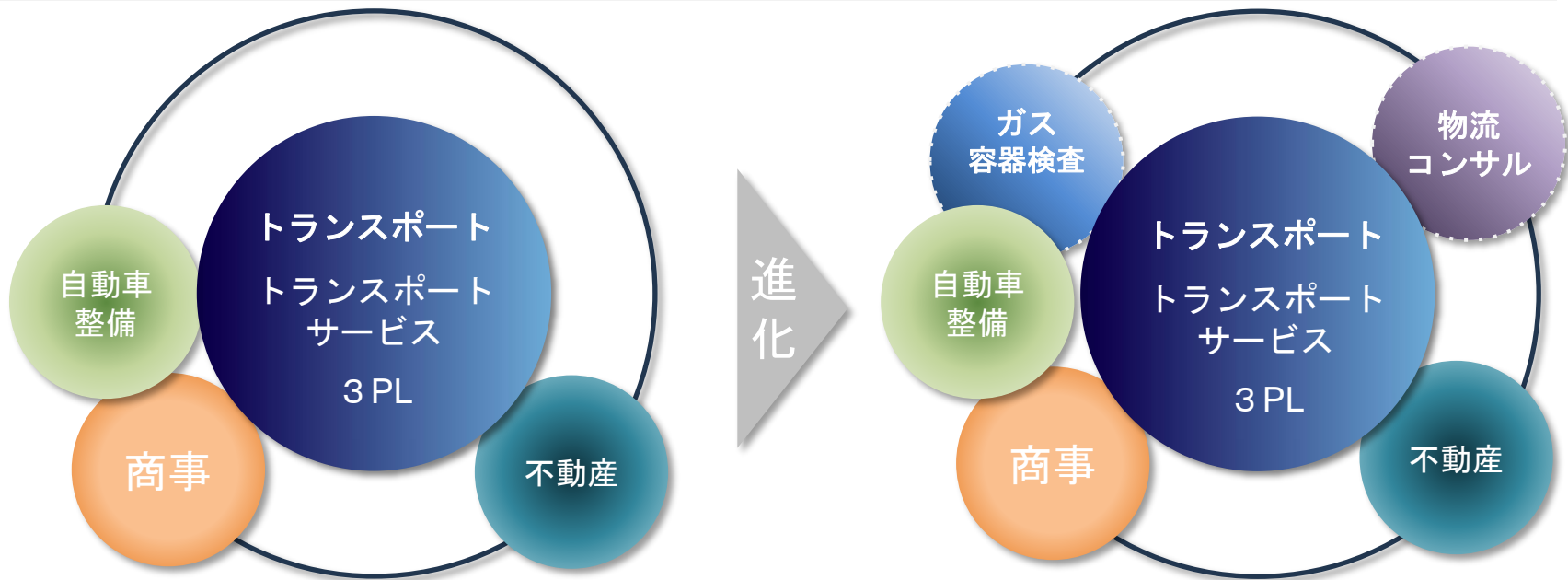
- 複数荷主への対応が可能な物流拠点を全国の戦略地域に展開する
- 輸送を活かした物流トータルサービスにより顧客の成長に寄与する

各社の技術・スキル・ノウハウを連携、シナジー効果によりさらなる成長を目指す



既存事業を進化させながら、成長を目指し新規事業に取り組む

- 物流コンサル：既存の自社サービスに加えて物流診断&改善提案を提供
- 産業用ガス輸送に付随してガス容器検査・整備事業を新たに展開



定量目標 第1次中期経営計画と長期ビジョン

成長分野への投資と付加価値の高い物流サービスの提供により「資本コスト」「PBR」「資産効率」を意識した経営を継続します。また、IR活動（企業情報開示等）の一層の充実化を目指します。

2033年度
(2034年3月期)

売上150億円
ROE8%
EBITDAマージン10%
配当性向30%

2026年度

売上115億円
営業利益
5億5千万円

GO

2025年度

売上112億円
営業利益
4億5千万円

2024年度

売上110億円
営業利益
3億9千万円

総投資額170億円

成長投資130億円 効率化/DX5億円 M&A35億円

事業戦略実現のため、安全管理、DX、人材といった経営インフラを確立する

✓ 安全



多様化する輸送ニーズに適応する安全体制を整備・強化
安全管理を指導する人材を育成（特殊輸送技能指導員等）

✓ DX



グループ全体の情報のシームレス化の実現、さらに新しい領域への進出
デジタル技術を活用した業務効率化の推進および新たな付加価値の創造

✓ 人材



人材の確保・定着、育成、能力開発を支援
福利厚生制度の拡充（従業員向け新制度導入等）

物流を通じて社会、企業、環境、ヒトに安心・安全と信頼を提供

Environment 環境



- ▶ 脱炭素社会形成と環境負荷低減を目指し、CO2排出量1%削減目標を設定
- ▶ 環境対応車両導入と太陽光発電システム設置で物流センターの電力使用量を削減

Social 社会



- ▶ 社会インフラの一員として、運輸安全と労働安全衛生を向上
- ▶ 物流を通じた災害支援活動
- ▶ ダイバーシティの推進（女性管理職の登用、育児休業取得等）

Governance ガバナンス



- ▶ すべての企業活動において、従業員は法令を遵守し、社会規範と企業倫理に従って誠実に行動する



(注) 本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略、数値などは、当社が現時点で入手可能な情報を元に作成した見通し(いわゆる Forward Looking Information)であり、これらの将来予測についてはリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績等については、記載の見通しと大きく異なることがあります。このため、当社としてその確実性を保証するものではありません。

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

<お問合せ先>

東部ネットワーク株式会社

広報・IR担当 代表取締役専務 三澤 秀幸

TEL : 045-461-1651

<https://www.tohbu.co.jp/>